

國學院大學學術情報リポジトリ

令和5年度大学院短期招聘研究員の研究報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-04-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000328

令和5年度 大学院短期招聘研究員の研究報告

令和5年度國學院大學大学院国際学术交流事業による短期招聘研究員の招聘に伴う研究活動について、下記のとおりご報告いたします。

招 聘 者：法学研究科 教授 高橋 信行

招聘研究員：Teles Da Silva Dhiego (ニーム大学 専任講師)

招 聘 期 間：令和5年6月1日（木）～令和5年6月30日（金）

学术交流報告（講演会等）①：

実施日時：6月5日（月）14:30-16:00

実施場所：3301教室（対面・遠隔ハイブリッド開催）

タイトル：予測司法（justice prédictive）の現状と問題点について

参加対象：一般

概 要：最近のフランスでは、AIを用いて判決の結論を予測する、という予測司法が発展しているが、倫理的な問題を引き起こしている。そこで、この予測司法の現状と問題点を紹介した。

学术交流報告（講演会等）②：

実施日時：6月9日（金）10:30-12:00

実施場所：0508演習室（対面・遠隔ハイブリッド開催）

タイトル：年金改革（reform de retraites）に関する日本とフランスの違いについて

参加対象：一般

概 要：最近のフランスでは、年金の支給開始時期を引き上げる（62→64歳）改革が提案されているが、激しい抗議行動が起きている。なぜこのような事態が起きているのか、現状について説明した。

学术交流報告（講演会等）③：

実施日時：6月14日（水）16:00－17:30

実施場所：0502演習室（対面・遠隔ハイブリッド開催）

タイトル：法律専門職における AI（特に ChatGPT）の活用可能性とその問題点について

参加対象：一般

概要：文章生成 AI の活用は日本でも問題になっているが、フランスでも、その活用が始まっている。このような文章生成 AI の現状と発展可能性、法による規制の必要性について紹介した。